

降誕節第7週 主日礼拝

2019年2月10日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ルカの福音書』7章20-23節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌4「小羊をば」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱		司会者	
感謝の賛美	新聖歌100「御国をも御座をも」	—	同
聖書朗読	『ルカの福音書』5章1-11節(新約116頁)	司会者	
黙想		—	同
メッセージ	「深みに漕ぎ出せ」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌345「沖へ出でよ」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱		渡邊 智子姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります。)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：伊東 一馬兄 会：山岸あけみ姉 横堀 信子姉	映像・音響：片山 浩司兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：佐藤 繁実兄 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

- 経験から学んだことだけを行動基準とするならば、自分の理解を超えた神のわざを受け入れられない。一般常識、前例主義、他者志向、・・・己の中にあるものを疑いつつ、ただ神のことにだけに信頼したい。
- シモン(ペテロ)は、疑いつつも、「お試し」で神のことに従った。その後、大漁の奇跡に直面した彼は、イエスを恐れ、離れてくださるよう願う。個人差による順番の違いはあるが、人が神と出会い、救われるときのプロセスは、①罪の自覚②神の義と聖への恐れ③赦された恵み、感謝、賛美④招きへの応答。
- シモンはすでにイエスの弟子だったが、この経験が再献身のときとなった。「何もかも捨てた」とは、生活の優先順位が、神中心に変わること。私が神を用いるのではなく、神が私を用いられることをおぼえよう。

今週の暗唱聖句

「愛する者たち、自分で復讐してはいけません。神の怒りにゆだねなさい。こう書かれているからです。『復讐はわたしのもの。わたしが報復する』(『ローマ人への手紙』12章19節)

[敬和学園の学生用] 牧師のサイン ()

個人、団体からの来信

2019年2月10日

亀田キリスト教会、新発田キリスト教会、村上福音キリスト教会より、領収書類／
宣教区婦人会主催セミナーのお知らせと日程に関するお願い／
「大中 恩 メモリアル2019」

先週の集会出席者数

2/3(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性-	幼児女子1 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性1
	第一礼拝	男3 女2	※月に一回、書道教室を開催。
	聖餐礼拝(子ども)	男11 女14 男児1 女児4	2/4(月) 月曜家庭集会 男2 女3 2/6(水) ネヘミヤ祈禱会 男5(求1) 女5
	夕拝	男1 女1	2/8(金) シャベリ場夕ピタ 男- 女3 2/8(金) 金曜祈禱会 男1 女2

諸集会のご案内

書道教室	※月に一回、書道教室を開催		
月曜家庭集会	2/11(月・祝)	(休会)	
新潟山形僚禱会	2/13(水)午後7:30	「祈りのネットワーク」ご持参ください	司会：調整中
シャベリ場夕ピタ	2/15(金)午後1:30	渡邊智子姉宅	問合せ先：小山 千春姉
金曜祈禱会	2/15(金)夜	教会堂	

2/17(日) 降誕節第8週

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：片山 初子姉		
第二礼拝 午前10:30	司会：片山 浩司兄 集会：横堀 信子姉 渡邊 智子姉	音響・映像：片山 健司兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：猪爪 和美姉 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	2/3[近牧師] 2/10[佐藤兄] 2/17[片山姉] 2/24[近牧師] 3/3[佐藤兄]		
掃除当番順	2/3[有志] 2/10[片山姉] 2/17[小林姉] 2/24[小山姉] 3/3[笹川姉]		
主日の予定	カナン訪問	午後2:00~3:00	進行：片山 初子姉
夕拝 午後7:30	司会：近伸之牧師 説教	礼拝箇所 『ルカの福音書』5章12-16節	

報告

- 本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝いたします。いただいたみことばをかみしめて新たな一週間を歩みましょう。本日午後4時から新潟教会で新潟ランチョンのコーラスの練習が行われます。
- 明日11日(月・祝)の予定
明日、有志にて城山温泉に行きます。子どもや求道者を含めて20名程が参加予定です。良き交わりの時となりますように。また同日、万代市民会館において宣教区会議と宣教懇談会がもたれます。当教会より近牧師と伊東一馬役員が出席予定です。道中と議事進行が守られますように。
-

ある新聞で読んだのですが、南米のペルーに住むケチュア族の間では、未来というのは自分の後ろにあり、過去は自分の前にある、と考えられているんだそうです。ふつうでしたら、私たちは、未来は自分の前の方にあり、過去は後ろにあると考えますから、このペルーの人たちはそれと逆なわけです。しかし、このペルーの人たちの考え、所変われば品変わると思いますが、わかる気もするではありませんか。未来というのは私たちの目には見えませんから、まあ、後ろにある。過去に何がおこったかは私たちにすでにわかっていますから前の方に見える、というわけなんです。

過去が私たちに見える、ということは、私たちが、自分たちの過去というものをどう受けとめて、それを未来に、すなわち、今後の自分の生き方にどう生かしていくか、という姿勢につながっていく大切なことだと思うんです。徳川家康という人は、いろいろな意味で傑出した巨人だと思いますが、彼は三方ヶ原というところで武田信玄と戦って大敗を喫してしまいます。そのとき家康は、わざわざ、いくさに負けて頬のげっそり落ちたみじめな自分の姿を絵師に描かせて、その絵をいつも見ていた、というのです。そしてのちの、天下分け目の関ヶ原の戦いにおいては、かつて自分が三方ヶ原で負けた武田信玄の軍略をすっかりまねて、今度は圧倒的な勝利を得ることになるのです。失敗したらその失敗したこ

とにくじけず、その原因を究明して、今度はそれを勝ちへと逆転させていく、非凡な人は違うと思いますが、その家康の絵は、徳川の子々孫々にまで伝えられ、今でも残っています。

聖書の中でも、ダビデという王様が大きな罪を犯したときに、こう神に祈りました。「どうか私の咎を、私から全く洗い去り、私の罪から、私をきよめてください。まことに、私は自分のそむきの罪を知っています。私の罪は、いつも私の目の前にあります」

(詩篇51篇)

家康と似ているところがありますね。ダビデ王は、自らの犯した罪の大きさにおののき、それを神様に告白し、ゆるしを求めたとともに、また、こうも歌った詩人でした。

「私はいつも、私の前に主を置いた。主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない」

(詩篇16篇)

失敗というにはあまりに大きなダビデの罪でしたが、神はそれをダビデの悔い改めの信仰のゆえにゆるされたわけでした。私たちにも罪への誘惑は不断にあります。その罪に打ち勝つ法は何でしょう。それは申し上げましたごとくに、自分の過去を自分の目の前に置き、そして何よりも、神様を自分の目の前に置く、そういう生活ではないでしょうか。神を信じる人生の秘訣はここにあるのでは、と思わされる昨今です。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592

2/16(土)イスラエルシリーズ「イエス・キリストの生涯をたどる旅・4」



11月からシリーズでお届けしている「イエス・キリストの生涯をたどる旅」の4回目。このシリーズでは、福音歌手の森祐理さんが聖書の記述をたどりながらイエス・キリストが実際に生まれ育ち、活動したイスラエルの町々を紹介していきます。今回は、イエス・キリストが福音を宣べ伝え、数々の奇跡を行ったガリラヤ湖畔の町を訪ね、その足跡を紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Nijata BEGiN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。



スエターの胸まだ小さし巨きくなれ

京極紀陽

毎年2月10日は「ニットの日」。「ニッ(2)ト(10)」の語呂にちなんで、まず横浜手作りニット友の会が記念日に制定。後に愛知県横編ニット工業組合も2月10日を「ニットの日」と定めたことから、後日、日本ニット工業組合連合会が全国的な記念日として改めて再制定。この句で「スエター」はセーターのこと。

2018年度教会目標 「弟子の覚悟をもって」

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL:025-387-4934 FAX:025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

